

2026
1月

『おうし座、すばるをみつけよう』

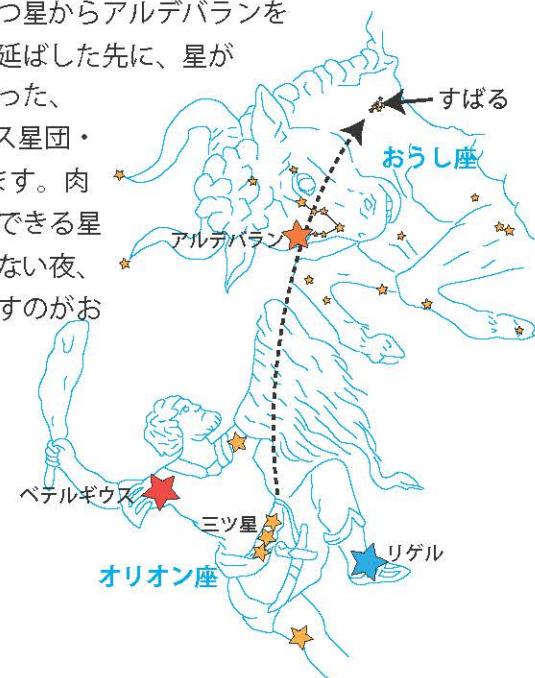


★おうし座 ~赤い目とV字の星の並び~

南の空高くにオレンジ色の明るい星が見つかります。おうし座の一等星アルデバランで、おうしの右目で輝く星です。アルデバランから、V字に星を結ぶと、おうしの顔になります。

★すばる ~若い星のあつまり~

オリオン座の三つ星からアルデバランを通過して、さらに延ばした先に、星がごちゃごちゃ集まつた、すばる(プレアデス星団・M45)が見つかります。肉眼でも見ることのできる星団で、月明かりのない夜、空の暗い場所で探すのがおすすめです。

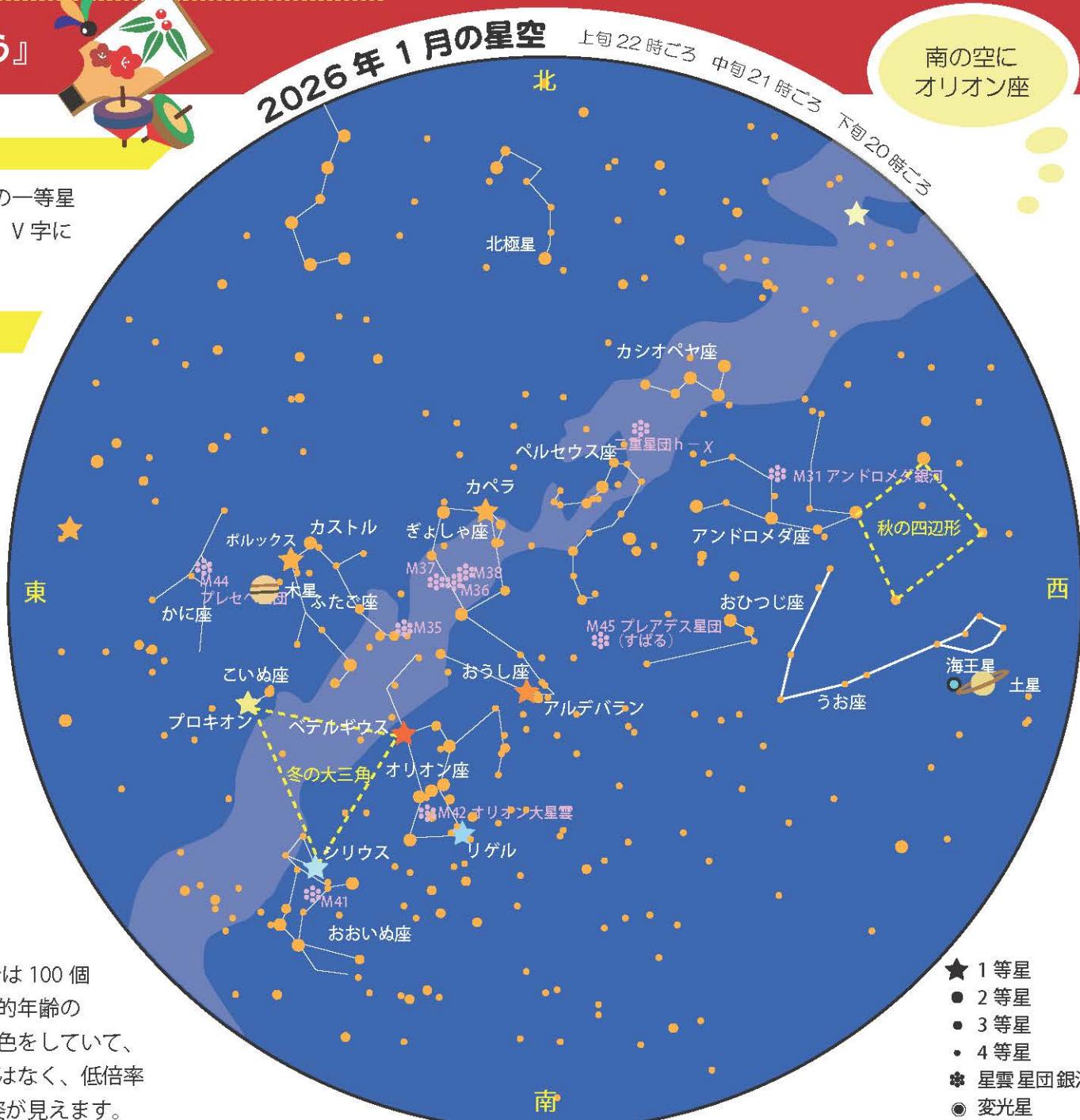


すばるは、肉眼でみると5~6個の星の集まりですが、双眼鏡では100個近くの星がバラバラっと集まって見えます。この星たちは、比較的年齢の若い星の集まりであることがわかっています。高温のため青白い色をしていて、星のまわりにぼんやり広がったガスも見られます。大型望遠鏡ではなく、低倍率の小型望遠鏡や双眼鏡など、広い視野で見た方がすばるらしい姿が見えます。

2026年1月の星空

上旬22時ごろ 中旬21時ごろ 下旬20時ごろ

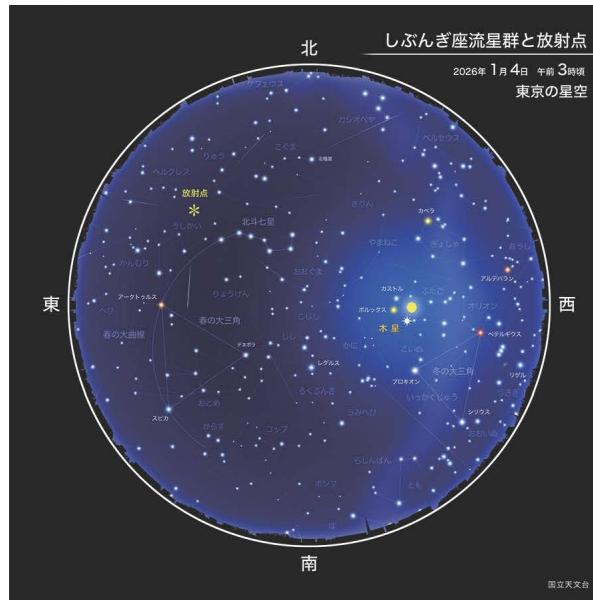
南の空に
オリオン座



◆今月の天文現象

- 1日 武雄市の日の出：午前7時22分
- 3日 ○満月
- 4日 しぶんぎ座流星群が極大
- 5日 小寒（太陽黄経285度）
- 7日 金星が外合
- 9日 火星が合
- 10日 木星が衝
- 11日 ●下弦
- 17日 土用の入り（太陽黄経297度）
- 19日 ●新月
- 20日 大寒（太陽黄経300度）
- 22日 水星が外合
- 26日 ●上弦

PICK UP★天文現象 しぶんぎ座流星群が極大



今年のしぶんぎ座流星群の流星が見え始めるのは、1月4日1時頃です（東京付近の場合。以下同じ）。最も多く見えるのは5時頃です。その後は夜明けとともに、流星も見えなくなります。今年は、明るい月の影響を受けるため、多くの流星は望めそうにありません。流星は、放射点（流星が、そこから放射状に出現するように見える）を中心に放射状に出現しますが、放射点付近だけでなくどちらの方向にも現れますので、なるべく空の広い範囲を見渡すようにしましょう。

Credit: NAOJ

◆土曜の夜は星をみよう

毎週土曜日夜、プラネタリウム投映と天体観望会を開催

◆サタデーナイトプラネタリウム

40分間の生解説でお送りします。天体観望会の前に星空を予習したい！という方におすすめです。*今後の状況により変更となる場合があります

+毎週土曜日18時～40分間（途中入場不可）。要プラネタリウム観覧料（17時55分販売終了）。

も～っと星空散歩 1月の星空を楽しもう～おうし座とすばる～（1月10、17、24、31日）

季節の星座や見ごろの天体をたっぷり紹介します。

天体観望会で観望予定の天体も紹介するので予習できます。

また、そのときどきの天文現象や宇宙の話題もお届けします。

◆天体観望会

+時間：10月～2月 19時～20時30分 / 3月～9月 20時～21時30分

+観望会は無料。受付は終了時刻の30分前まで。天候不良の場合は中止。

+天体観望会のテーマ

*今後の状況により変更となる場合があります

1月 おうし座すばるをみつけよう / 2月 オリオン座をみつけよう

*実施の可否は当日18時に判断しHPやSNSでお知らせします。
また天候不良により途中で中止となる場合もあります。

◆今月の見ごろの天体

★3日…天候に関わらず中止

★10日…土星、ベテルギウス（オリオン座一等星）など

★17日…土星、ベテルギウスなど

★24日…月（月齢5.3）、木星など

★31日…月（月齢12.3）、木星など

*観望天体は、天候・混雑状況などにより、変更になることがあります。

• • • お知らせ • • •

★日本星景写真協会（ASPJ）第5回巡回展「星の風景」佐賀展

～2026年2月1日（日）1階企画展示室

特別イベント<ギャラリートーク>

1月3日（土）14時00分～ 会場：佐賀県立宇宙科学館1階企画展示室内

参加費：無料（要常設展観覧料）

星景写真と月光写真のパイオニアであり、日本星景写真協会理事の竹之内貴裕（たけのうちたかひろ）氏によるギャラリートーク

★コマフェスタ～「コマ」がテーマの科学の祭典

～2026年1月12日（月祝）

「コマフェスタ」は、お正月にちなんだ「コマ」をテーマにした科学の祭典。